

平和構築の重要性が国際社会でいわれてから、20年近くが経ちました。平和構築の試みはたくさん進められましたが、それは、世界から注目される大きな紛争、そして紛争後の復興事業に偏る傾向がありました。何よりも大きな制約は、現地政府が第三者の仲介と支援を要請したときしか平和活動ができないということです。

ジュマ・ネット10周年記念シンポジウム

2012年11月17日[土]

Jumma Net Symposium

これからの
平和構築
かかわるのか

●シンポジウムのテーマ

どう



なぜ
かかわるのか



誰と協働
するのか



シンポジウムのテーマは、今日のグローバル社会の様相を考えれば、必須の論点であるはず。国家的な制約を乗り越え、新しい平和構築のイメージをジュマ・ネットは考えていきたいと思っています。



「なぜかかわるのか」国ではなくひとりひとりの安全と人権を守るために

時間：14:00～17:00

場所：JICA 研究所 国際会議場(2F)

定員：70名

参加費：1,000円(学生500円)

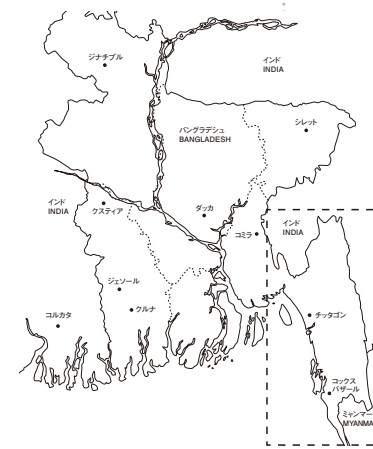


主催 ジュマ・ネット

※この事業は大竹財団および
庭野平和財団の助成を得て開催しています

シンポジウムは同時通訳あり

Jumma Net
Symposium
Nov.2012



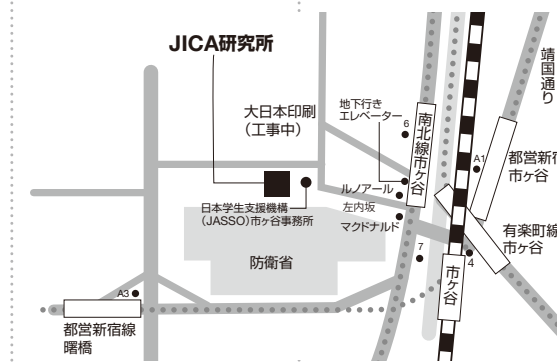
バングラデシュ・チッタゴン丘陵とはバングラデシュ、チッタゴン丘陵には古くからモンゴロイド系の先住民ジュマの人々が住んでいました。その地で1970年代から政府による大規模な入植政策と軍事占領が始まり、数々の人権侵害と虐殺事件から紛争へと発展しました。

1997年には政府とジュマの間で和平協定が結ばれ、紛争が終結したものの、現在まで政府は和平協定の約束を実施せず、様々な人権侵害が続いています。中心政党であるアワミ連盟は、『チッタゴン丘陵和平協定の完全実施』をマニフェストの中に挙げていますが、ほとんど実施されていません。

ジュマ・ネットとはジュマ・ネットはバングラデシュ、チッタゴン丘陵の紛争解決と平和促進のために、関心のある有志や団体が集まり2002年に設立されました。弱い立場に置かれた先住民の人々が平和な社会に暮らし、基本的な人権が守られ、開発の恩恵を十分受けられるようになることを目指して活動しています。

ジュマ・ネットの活動の柱

1. 平和促進活動
2. 被害者支援活動
3. 日本国内で知らせ・交流する活動



国際協力機構研究所 (JICA 研究所)
JICA Research Institute

162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
TEL. 03-3269-2911 FAX. 03-3269-2054

- JR中央線・総武線「市ヶ谷」徒歩10分
- 都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」A1番出口 徒歩10分
- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」4番/6番出口 徒歩10分

Photo: A. Aoyama
design: I. Fukuzawa M. Takada

●ジュマ・ネット設立10周年
記念パーティを開催します
時間 17時40分から
場所 JICA 研究所内レストラン
参加費 3,000円(学生2,000円)



●お申し込み・お問い合わせ
ジュマ・ネット事務局
〒110-0005 東京都台東区上野5-3-4
クリエイティブ One 秋葉原ビル 6F
Tel & Fax: 03-3831-1072
E-mail: jummanet@gmail.com
URL: <http://www.jummanet.org/>